

復興の象徴「ひょうごフェニックス計画」シンボルマーク

このマークは、宝塚市ゆかりの漫画家、故手塚治虫氏のライフワーク的作品「火の鳥」をもとにデザインしました。「火の鳥」は自ら火の中に飛び込んで再び甦るというエピソードがあり、復興のシンボルとして手塚夫人から贈呈されたものです。

兵庫県が策定した「阪神・淡路震災復興計画（ひょうごフェニックス計画）」への理解と復興に向けての機運を高めていくため、このシンボルマークを復興の象徴としました。